



2026年5月8日

各 位

会社名 株式会社エーアンドエーマテリアル
代表者名 代表取締役社長 巻野 徹
(コード番号 5391 東証スタンダード)
問合せ先 管理本部 経理部長 澤井 隆司
(電話番号 03-3458-9380)

業績予想値と実績値との差異に関するお知らせ

2026年2月5日に公表した、業績予想値と本日公表の実績値に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 2026年3月期通期連結業績予想値と実績値の差異について

(2025年4月1日～2026年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する当期 純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	49,300	2,500	2,400	1,900	247.54
実 績 (B)	45,700	1,674	1,614	1,701	226.52
増 減 額 (B-A)	△ 3,600	△ 826	△ 786	△ 199	-
増 減 率 (%)	△ 7.3	△ 33.0	△ 32.7	△ 10.4	-
(ご参考)前期実績 (2025年3月期)	43,421	1,916	1,885	△ 120	△ 15.77

2. 差異の理由

売上高は、M&Aによる事業規模の拡大に加え、各種コスト上昇に対応した価格改定の浸透や高付加価値商品の販売拡大が増収要因となった一方で、主に工業製品・エンジニアリング事業における大型物件の工程遅延の影響により、見込んでいた工事売上の一部が翌期へずれ込んだことから、最終的に当初予想を下回る結果となりました。

利益面につきましては、原燃料価格の高止まりや労務費・物流費の上昇といった外部環境の影響に加え、工事物件数の減少に伴う価格競争の激化により利益率が低下し、営業利益および経常利益は予想を下回る結果となりました。

これらの要因には一時的な側面も含まれており、受注環境は回復の兆しが見られるほか、販売価格改定の浸透や高付加価値商品の拡販、さらにはM&Aによるシナジー創出やDX基盤の整備も着実に進捗しております。引き続きこれらの取り組みを推進するとともに安定的な収益の確保に努め、持続的な成長と企業価値の向上を目指してまいります。

以 上